

(別紙 1)

平成 28 年 12 月 20 日

空知地域生活交通確保対策協議会議長 様  
 (空知総合振興局地域創生部長)

住 所 北海道夕張市若菜 2 番地 19  
 申出者氏名又は名称 夕張鉄道株式会社  
 取締役社長 黒澤 良之 印

一般乗合旅客自動車運送事業の事業計画変更(休止・廃止)事前申出書

このたび、一般乗合旅客自動車運送事業の事業計画を変更(休止・廃止)したいので、平成 13 年 9 月 26 日付け国自旅第 92 号(国土交通省自動車交通局旅客課長通達)の記 2 に基づき、次のとおり申出ます。

## 記

## 1 休止(廃止)しようとする路線

路線 番号	路線名	運行系統			系 統 キ 口 程 (km)	公 的 補 助 の 有 無	関 係 市 町 村 名	関 係 地 域 協 議 会 名	備 考
		起 点	経 由 地	終 点					
1	中学校～オソ ウシ入口	中学校前	沼の沢 552 番地	オソウシ 入口	19.5(往) 19.4(復)	国(道)市町村	夕張市	夕張市地 域公共交 通協議会	H28 年 度補助 対象
						国・道・市町村			
						国・道・市町村			
上記の内、実際の 休止(廃止)区間		起 点	終 点	キ 口 程					
		夕張市紅葉山 75 番地先	夕張市滝の上 13 番地 2 先	7.434					
		夕張市沼の沢 213 番地先	夕張市清陵町 62 番地先	3.668					

(計 1 路線)

## 2 休止(廃止)の予定日

平成 29 年 7 月 1 日

## 3 休止の期間

4 休止(廃止)を必要とする理由  
別紙のとおり5 休止(廃止)予定系統図  
別添のとおり

注 1) 「公的補助の有無」欄は、国庫補助対象路線の場合は「国」を、道単補助対象路線の場合は「道」を、市町村単独補助路線の場合は「市町村」を、それぞれ○で囲むこと。また、重複して補助対象になっている路線は、すべての該当箇所を○で囲むこと。

注 2) 休止(廃止)予定系統図は、申し出系統が休止(廃止)された後の旅客の利便性への影響が確認できるよう、①休止(廃止)予定系統、②実際の休止(廃止)区間、③休止(廃止)後の代替となる系統、④新たな系統を新設する場合はその系統など、系統の運行状況等を明記すること。

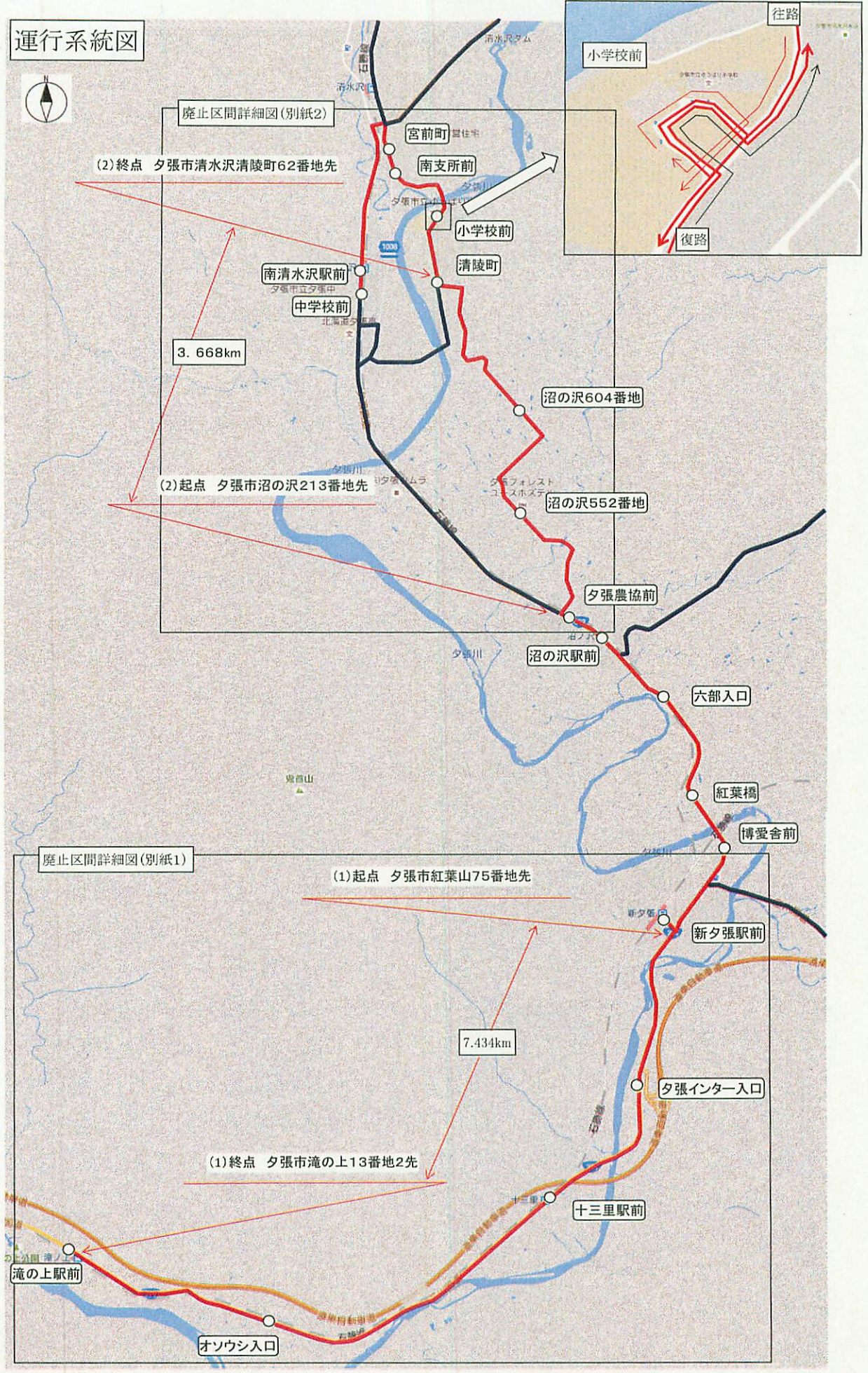
(関係地域協議会 1 部、全道協議会 1 部、関係市町村(市町村数)部を添付)

## 休止（廃止）を必要とする理由

当該系統は、夕張市内の中学校が平成22年4月に、小学校が平成23年4月にそれぞれ統合された為、平成8年5月から休止していた夕張市紅葉山～滝の上駅前、新規路線免許を取得した夕張市沼の沢～夕張市清陵町を含む新設系統として、平成22年4月1日から運行してきました。運行当初から利用者の大半が通学の為に乗車する小・中学生に限られ、一般利用者は皆無の状況で北海道より夕張市財政再生支援バス補助と、夕張市より生活交通路線補助の交付を受け運行してきましたが、年々生徒数の減少に伴い減額となった定期券代と補助金のみでは収支悪化は避けられず、加えて運転者不足の為、夕張市に要請し本年10月1日から平日-登校1便、下校1便、学校休校日-登校1便に減便して運行しております。

然しながら収支悪化もさることながら、運転者の確保が非常に厳しく今年度末までは何とか運行できても、来年度には定年退職者が数名発生することから路線に係る運転者数を削減しなければ、他の路線維持も困難となり、平成29年7月1日から届出区間を廃止することといたしました。

# 運行系統図



系統番号	起点	主な経過地	終点	キロ程(km)	備考
69	中学校前	沼の沢552番地	オソウシ入口	19.5	往路
				19.4	復路



廃止区間詳細図(別紙1)



	既免許路線
	廃止予定路線

廃止路線の位置	キロ程	道路管理者
(1)起点 夕張市紅葉山75番地	7.434km	札幌開発建設部 岩見沢道路事務所
(1)終点 夕張市滝の上13番地2先		

